

●冬の公園を散策すると、いろんな発見があるかも!?

寒くなると、冬鳥が飛来します。また、秋まで茂っていた葉が落ちると、いつもは見えなかった景色が姿を現します。

●黒くてツルンとした見た目のかわいらしいオオバン

■冬になると、来園者から「あの鳥はなんていう名前ですか?」とよく聞かれるのがオオバンという鳥です。群れで行動し、冬から春にかけて、園内のあちこちで姿を目にします。陸上をトコトコと歩きながら草をついばんでいる姿がとてもかわいらしい鳥です。



①オオバン

●カルガモは冬鳥じゃない?



②カルガモ

■年間を通じてみることのできるのがカルガモです。とはいえ、冬になると公園内にいる個体数がいつの間にか増えています。ここ数年、夏が思いのほか暑いため、どこか涼しい地域へ避難しているのかもしれない。

●生きた化石?メタセコイアの不思議

■メタセコイアは、日本では化石として発見されていたため、絶滅したと考えられていました。しかし、1946年、中国の湖北省で生きているものが見つかり、現生している種であることがわかったのです。



③メタセコイア

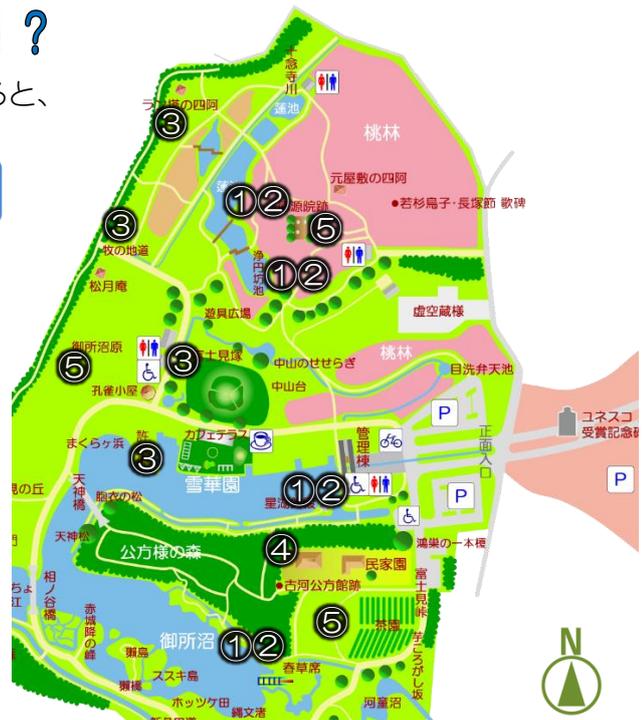
●メタセコイアは針葉樹ですが、常緑のスギやヒノキと違い、秋になると紅葉し、冬になると落葉します。

●冬になると姿を現す筑波山

■12月、筑波見の丘から天神橋の方向をみると、春から秋の間は見ることができなかった筑波山の姿を目にすることができます。落葉後の風景も楽しんでみてはいかがでしょうか。いつもと違う風景に出会えるかもしれませんね。



木々の間から筑波山がみえます。



●公方様の森の林床にある赤い実って何?

■毎年冬になると、公方様の森の林床に赤く美しい実のなる植物を見かけます。この植物はヤブコウジという名前で、別名ジユウリョウ(十両)とも呼ばれています。このように、赤い実のなる植物は、ほかにもマンリョウ、センリョウ、ヒャクリョウなどというように縁起の良い「金生樹」として位置づけられています。そのためこのような赤い実のなる植物は日本庭園などに使われるほか、正月飾りとしても用いられています。



④ヤブコウジ

●ツグミって鳴かないの?

■ツグミは秋になるとシベリアから渡ってくる代表的な冬鳥です。胸を張るように木の枝にとまる姿はとてもりりしく見えます。そんなツグミですが、その名の通り、渡り先の日本では全く鳴きません。一体どんな声でさえずるのでしょうか。とても気になるところです。



⑤ツグミ

●冬の公園にも生き物がいっぱい。暖かくして散歩を楽しんでくださいね!

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索